

ニッセイ インターネットアンケート ～「2023年の振り返りと新年への期待」について～

日本生命保険相互会社（社長：清水博）は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューの一つとして、ホームページ（<https://www.nissay.co.jp>）内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「2023年の振り返りと新年への期待」に関するアンケート調査を実施しました。

《アンケート概要》

- 実施期間：2023年11月1日(水)～11月15日(水)
- 実施方法：インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
- 回答者数：11,200名(男性：5,593名、女性：5,406名、その他・無回答：201名)

＜年代別回答者数＞

[名]

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	262	640	864	1,650	1,166	394	5,593
女性	414	778	861	1,462	893	335	5,406
合計	676	1,418	1,725	3,112	2,059	729	
占率	6.0%	12.7%	15.4%	27.8%	18.4%	6.5%	

《アンケート結果のポイント》

ポイント①

質問 1～3

【2023年の振り返り】

- 「今年が良い年だった」と回答した割合は、全体で41.9%であった。
- とりわけ良かったことについては、全体では「家族に関すること」と回答した割合が最も高かった。

ポイント②

質問 4～5

【新年への期待について】

- 「来年は良い年になりそうか」という質問に、30代以下と70代以上で、「はい」と回答した割合が高かった。
- 来年の主な関心事について、「物価や賃上げなどの動向」と回答した方が46.3%と最も多かった。年代別では、30代から50代の約半数の方が関心を寄せていることが分かった。
- また、「新型コロナウイルス感染症等の動向」と回答した方が17.5%であった。依然として2割弱の方が関心を持っており、年代が上がるほど関心度が高かった。

ポイント③

質問 6～9

【年末年始休暇について】

- 年末年始休暇の予定は「自宅・自宅周辺で過ごす」と回答した方が62.3%となり、5年連続で最も多く、次いで「帰省」となった。
- 「自宅・自宅周辺で過ごす」理由として、昨年まで最も多かった「新型コロナウイルス感染症等の予防のため」は12.5%となり、昨年と比較すると30.2ポイント、一昨年と比較すると47.7ポイント低下した。
- 年末年始休暇の予算は、5.2万円と昨年より約0.4万円増加した。また、予算を「減らす」と回答した方が9.9%と、昨年の13.3%と比べて割合が低下した。

【2023年の振り返り】

<アンケート結果のポイント>

- 「今年が良い年だった」と回答した割合は、全体で41.9%であった。
- とりわけ良かったことについては、全体では「家族に関すること」と回答した割合が最も高かった。年代別では20代以下が「ライフイベントに関わること」が最も割合が高く、70代以上は「自分自身(健康面など)に関わること」と回答した割合がそれぞれ高かった。
- 今年1年を評価する点数は、平均で68.5点となった。

質問1 今年あなたはあなたにとって良い年でしたか？ (回答者数：10,691名)

内容	(%)						
	全体	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
はい	41.9	57.6	53.8	42.3	35.1	38.6	41.9
いいえ	13.6	9.0	9.9	12.5	16.3	14.2	14.9
どちらとも言えない	44.5	33.4	36.3	45.2	48.6	47.2	43.3

「はい」と回答した割合は
20代以下・30代で5割以上

質問2 とりわけ、良かったことは何に関わることですか？ (回答者数：5,517名)

順位	内容	(%)						
		全体	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
1	家族に関わること	27.9	16.8	27.6	27.8	28.8	32.9	26.0
2	趣味・娯楽に関わること	17.8	22.2	14.7	17.9	18.2	17.9	18.0
3	仕事に関わること	14.0	16.0	16.4	17.3	14.2	10.5	7.8
4	ライフイベントに関わること	12.4	23.9	22.8	11.1	8.5	8.2	5.8
5	自分自身のこと(健康面など)	12.1	7.9	5.2	9.6	11.4	15.9	28.0
6	収入・金銭面に関わること	4.4	4.2	5.8	4.7	5.4	2.8	1.6

年代別にみると、
20代以下は「ライフイベント」、
70代以上では「自分自身(健康面など)」と回答した割合が高かった

質問3 ご自身の1年に点数をつけるとしたら、100点満点として何点をつけますか？ (回答者数：10,513名)

	(%)						
	全体	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
100点	5.6	10.0	8.6	6.0	3.9	3.8	6.5
80~99点	25.5	28.7	27.7	23.6	22.4	28.3	27.4
60~79点	39.4	38.3	38.4	39.7	39.7	40.1	38.9
40~59点	20.8	15.8	17.2	21.8	23.6	19.4	21.5
20~39点	5.5	4.4	5.2	5.5	6.6	5.1	3.8
0~19点	3.2	2.8	2.9	3.5	3.8	3.3	1.9
平均点(今年)	68.5	72.2	70.8	67.9	66.0	68.9	70.5
平均点(昨年)	68.0	73.0	71.0	67.0	66.0	69.0	70.0

【新年への期待について】

＜アンケート結果のポイント＞

- 「来年は良い年になりそうか」という質問に、30代以下と70代以上で、「はい」と回答した割合が高かった。
- 来年の主な関心事について、「物価や賃上げなどの動向」と回答した方が46.3%と最も多かった。年代別では、30代から50代の約半数の方が関心を寄せていることが分かった。また、「新型コロナウイルス感染症等の動向」と回答した方が17.5%であった。依然として2割弱の方が関心を持っており、年代が上がるほど関心度が高かった。

質問4 来年はあなたにとって良い年になりそうですか？（回答者数：10,560名）

(%)

内容	全体	年代別					
		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
はい	47.0	60.4	58.9	46.0	41.3	43.5	48.2
いいえ	4.7	2.8	4.3	5.1	6.0	3.9	2.9
どちらとも言えない	48.3	36.8	36.8	49.0	52.7	52.6	49.0

30代以下と70代以上で
全体平均と比べて
来年への期待が高かった

質問5 来年の主な関心事は何ですか？（回答者数：10,443名）※複数回答可

(%)

順位	内容	全体	年代別					
			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1	物価や賃上げなどの動向	46.3	45.6	51.9	49.8	47.9	41.6	36.6
2	個人の資産形成に関する動向※NISAやiDeCo等	19.7	20.2	24.7	22.3	20.6	17.0	10.1
3	新型コロナウイルス感染症等の動向	17.5	14.3	14.5	15.6	15.7	21.2	26.0
4	その他金融政策の動向※為替・経済・景気情勢等を含む	14.8	8.5	12.1	13.8	15.5	18.4	14.4
5	オリンピック・パラリンピックがパリで開催	10.8	9.4	8.7	9.3	11.3	12.8	12.0

「物価や賃上げなどの動向」への関心は4割強で、とりわけ30～50代は約半数の方が関心を寄せている状況
また、「新型コロナウイルス感染症等の動向」は依然として2割弱の方が関心を持っており、年代が上がるほど関心度が高かった

＜ニッセイ基礎研究所 チーフエコノミスト 矢嶋 康次のコメント＞



来年の主な関心事としては、「物価や賃上げなどの動向」がすべての年代において最多となりました。2023年は日本が長年続いたデフレから脱却し、インフレ経済に転換する兆しの見られる年でした。その一方で、物価上昇に所得の伸びが追いつかず、値上げの嵐に悩んだ方も多かったのではないのでしょうか。インフレの流れは来年以降も継続することが見込まれるところ、「成長と分配の好循環」を実現すべく、賃上げが来年以降も継続することが強く期待されます。

また、NISAやiDeCoといった個人の資産形成に関する動向への関心が高いことも注目されます。中でもNISAは来年から抜本拡充・恒久化が実施されるため、関心を持っている人も多いのではないのでしょうか。新NISAが個人の資産形成に資することが期待されるのはもちろんのこと、マクロ経済の観点からは、日本株にどれほど投資が向かうか、という点も重要なポイントになります。そのためには、日本経済と企業の成長力が高まるよう、政府の成長戦略も一体で進められることが不可欠になるでしょう。

一方で、60代以上を中心に依然として新型コロナウイルス感染症に関心を持っている方も少なくありません。5月に新型コロナは5類に移行しましたが、感染後に倦怠感などの症状が続く「後遺症」の存在が広く報道されていることなどが影響を及ぼしているのかもしれませんが。

【年末年始休暇について】

<アンケート結果のポイント>

○年末年始休暇の予定は「自宅・自宅周辺で過ごす」と回答した方が62.3%となり、5年連続で最も多く、次いで「帰省」となった。

○「自宅・自宅周辺で過ごす」理由として、「金銭的な余裕がないため」が最も多かった。昨年まで最も多かった「新型コロナウイルス感染症等の予防のため」は12.5%となり、昨年と比較すると30.2ポイント、一昨年と比較すると47.7ポイント減少した。

○年末年始休暇の予算は、5.2万円と昨年より約0.4万円増加した。また、予算を「減らす」と回答した方が9.9%と、昨年の13.3%と比べて割合が低下した。

質問6 今年の年末年始休暇は何をして過ごす予定ですか？（回答者数：10,500名）※複数回答可

(%)

順位	内容	全体
1	自宅・自宅周辺で過ごす	62.3
2	帰省	15.7
3	見通しが立っていない	13.1
4	国内旅行（宿泊あり）	7.9
5	近場のレジャー（日帰り）	6.0

「自宅・自宅周辺で過ごす」と回答した割合は5年連続で最も高かった

質問7 <「自宅・自宅周辺で過ごす」を選択した方への質問>

自宅・自宅周辺で過ごす理由はなぜですか？（回答者数：7,060名）※複数回答可

(%) (pt)

順位	内容	全体	
		(%)	(pt)
1	金銭的な余裕がないため	22.4	+ 5.3
2	仕事の予定があるため	14.2	+ 3.4
3	新型コロナウイルス感染症等の予防のため	12.5	▲ 30.2
4	年末年始休暇日が例年に比べ少ないため	8.6	+ 0.3

「新型コロナウイルス感染等の予防のため」と回答した方は昨年から30.2ポイント低下（一昨年から47.7ポイント低下）

質問8 今年の年末年始休暇の予算はいくらですか？（回答者数：10,171名）

(%)

内容	全体						
		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
1万円未満	16.0	18.6	17.0	15.4	16.5	15.0	14.1
1~2万円未満	13.1	22.0	17.5	12.5	12.7	10.1	8.2
2~3万円未満	19.5	22.4	20.8	19.7	19.7	18.8	16.1
3~5万円未満	25.5	22.4	26.1	26.9	25.0	24.8	27.6
5~10万円未満	15.2	9.8	10.1	15.2	16.2	17.7	18.2
10万円以上	10.8	4.8	8.6	10.3	10.1	13.5	16.0
		(万)					
平均額	5.2	3.7	4.5	5.2	5.0	5.9	6.3
平均額（昨年）	4.8	3.3	4.2	4.9	4.7	5.3	6.1

昨年（4.8万円）と比較して、約0.4万円増加

質問9 今年の年末年始休暇の予算は昨年と比べて増やしますか？減らしますか？（回答者数：9,988名）

(%)

	増やす	減らす	変わらない
全体	9.0	9.9	81.2
全体（昨年）	8.6	13.3	78.1

予算を「減らす」と回答した方の割合が
昨年から低下した

<ニッセイ基礎研究所 チーフエコノミスト 矢嶋 康次やしま やすひでのコメント>

年末年始休暇の過ごし方として「自宅・自宅周辺で過ごす」と回答する方が最も多いのは例年と変わりません。しかし、その理由として新型コロナウイルス感染症を挙げる人は大きく減少しました。実際、観光庁の宿泊旅行統計によると、国内の延べ宿泊者数はコロナ禍前の水準にまで回復しており、新型コロナへの社会の向き合い方が変わったことが示唆されています。

また、年末年始休暇の予算は、すべての年代で昨年よりも増えるようです。個人消費は総じて堅調に推移しています。消費者にとって、値上げは確かに負担にはなりますが、それに伴う付加価値があれば納得して支払うということなのかもしれません。あるいは、2023年の年末年始は日並びが悪く、まとまった休暇が比較的取りづらかったことが今年度の予算増に影響を及ぼしている可能性も考えられます。

さらに、年末年始休暇の予算を昨年よりも「減らす」と回答した方の割合は昨年を下回っています。ニッセイ基礎研究所は、2024年度に個人消費の伸びが高まると予想しています。個人消費が国内需要を創出し、日本経済の成長につながることを期待されます。

以上
2023-31926, 広報部